

エコールみよた  
Clip Board

エコール  
みよた  
(32)2770

コンサート  
のご案内

御代田青少年少女合唱団  
「つばさ」

おかげさまで11回目のコンサートを迎えることになりました。  
歌うごとに多彩な才能を発揮する子どもたちのステージをお楽しみください。  
今年はどんなコンサートになるのでしょうか。  
「みなさん、来てくださいね！」



- 日 時 3月23日(日)  
開場 13:30 開演 14:00
  - 会 場 エコールみよた  
あつもりホール
  - 演奏曲目 サウンドオブミュージック 他
  - 入 場 料 無料
- 問い合わせ先  
教育委員会生涯学習係 (32)2770

同時開催!

子ども生け花教室  
「ミニ華展・ありがとうの  
気持ちをこめて！」

一年間のお稽古の成果を春の花々で飾ります。  
皆さまのご来場をお待ちしています。  
会場:エコールみよた ラウンジ  
期間:3月22日(土)午前9時~23日(日)午後5時

浅間縄文  
ミュージアム  
(32)8922

中田秀一制作楽器展  
アンデス春風の響き

戸隠在住の楽器作家中田秀一氏制作アンデス楽器の展示です。ケーナ、サンポーニャ、チャランゴ、ギターラなど約30点を展示します。

【会 期】 3月1日(土)~30日(日)  
月曜休館

【見 学】 無料

【場 所】 浅間縄文ミュージアム 企画展示室

folklore コンサート (会期末開催)

◆出演 中田秀一&ユラックオルコ

【日 時】 3月29日(土) 午後6時開演

【場 所】 浅間縄文ミュージアム常設展示室

【料 金】 大人1,500円(前売り)  
2,000円(当日)

小学生~高校生1,000円(前売り・当日)

※チケットは浅間縄文ミュージアムにて発売



展示楽器 チャランゴ

図書館利用者懇談会

日時 3月8日(土) 11:00~  
場所 エコールみよた 大会議室  
今後の図書館運営に活かすために、  
日頃図書館をご利用いただいている  
皆さんから、ご意見をいただきたいと思ひます。  
お友達を誘ってお気軽におでかけください。

フレンドリー  
図書館  
(32)0800

春休み子ども映画会

日時 3月22日(土) 11:00~  
場所 エコールみよた あつもりホール  
上映作品「 (未定) 」 入場無料

3月のおはなし会の予定

ちいさいおともだちのおはなし会(幼児向け)  
3月6日(木)・20日(木) 10:30~11:00

おはなし会

3月8日(土)・22日(土) 10:30~11:00

昔がたりのおはなし会

3月29日(土) 10:30~11:10  
望月の「お話玉手箱」の方の語りです。  
みんなで聴きにきてね!

# 募集人員 先着100名(25組) 町民ゴルフ大会参加者募集!

4月13日(日)

会場:大浅間ゴルフクラブ

申込締切:3月22日(土)

競技方法:新ペリア方式(上限なし)

参加資格:町在住・在勤の方

参加費:11,000円

この大会は、町民ゴルファーの親睦・健康増進・技術やマナーの向上を目的に開催しています。

大会は、新ペリア方式。しかも上限なしで行います。

初心者のあなたが優勝するかも知れません。また、お友だちと同じ組にすることもできます。

参加を希望する方は、教育委員会社会体育係(B&G海洋センター)に用意してある申込用紙に、氏名・生年月日・

HC・区名を記入し、参加費を添えてお申し込みください。電話での申し込みはお受けできません。

組み合わせは大会の一週間ほど前に発表します。

申し込み・問い合わせ先 教育委員会社会体育係 (32)6114

はじめてまこ

## 絵本の世界

この冬は、日によって寒暖の差が大きかったですね。風邪などひかなかつたでしょうか。春に向かうにつれ、植物や虫などの生き物たちが活動を始めます。小さな変化も見逃がさないようにして、春を待ちたいものです。

『めざめのもりのいちだいじ』

森の雪が溶けるころ、ヤマネくんが冬眠から目を覚ましました。おもては春の匂いがします。ヤマネくんはうれしくなつてかけだしましたが、ミツバチさんの家になつている木が傾いて、崖の下に落ちそうになつているのを見ます。ヤマネくんはクマさん呼びに行きましたが、クマさんは起きてくれません。

森では、動物たちがかくれんぼをしていました。ヤマネくんはみんなを連れて崖まで戻つてきて木を引っ張りましたがびくともしません。もう、クマさんを起こすしかないません!



『めざめのもりのいちだいじ』  
ふくざわゆみこ/作  
福音館書店

BOOK  
コーナー

## ほんとに、いい出会い。

一般書

今月のおすすめの

一冊!!

『春の小川はさらさらいくよ』  
五十〜七十代が選んだ、心に残る「ふるさと」の季節の歌が、歌の背景に合わせた写真と解説付きで紹介されています。

朝もやに包まれた里山、川で泳ぐ少年、稲の実った田んぼをのぞく道歩いていく人など、郷愁を誘う場面の数々があります。

『早春賦』の作詞者・吉丸一昌は、安曇野をたびたび訪れており、安曇野の自然や人々の営みからこの詞を創ったとのこと。

また、「どこかで春が」には、雪の間に顔をのぞかせたふきのとうの写真が付されています。その解説には、「春は季節そのものではなく、足元や耳元での春を告げる小さなものの発見の重なりです。」とあります。

懐かしい歌を口ずさみつつ、耳をすませ、目を凝らし、春を探してみませんか。



『どこかで春が』  
前田真三・前田晃/写真  
ピエ・ブックス